

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 30398/1988

(JP-U-63-30398)

What is claimed is:

1. A fabric product which comprises a transfer layer having a designation mark or character being disposed on part of a bottom surface thereof.
2. A fabric product according to claim 1, wherein the transfer layer consists of a thermosensitive adhesive layer and a copied image layer with overlapping together.
3. A fabric product according to claim 2, wherein the thermal adhesive layer contains a white pigment.
4. A fabric product according to claim 1, wherein the transfer layer has a designation mark for a washing method.

BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和63- 30398

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭63- 30398

⑬Int.Cl.⁴

D 06 Q 1/00
A 41 B 9/00
A 41 D 27/08
A 47 K 10/02
G 09 F 3/10

識別記号

庁内整理番号

⑬公開 昭和63年(1988)2月27日

7633-4L
Z-7149-3B
C-7150-3B
6654-2D
6810-5C

審査請求 有 (全 頁)

⑭考案の名称 布製品

⑮実願 昭61-123985

⑯出願 昭61(1986)8月12日

⑰考案者 辻 本 穂 二 奈良県橿原市見瀬町680-1

⑯出願人 辻 本 穂 二 奈良県橿原市見瀬町680-1

⑰代理人 弁理士 宮井 てる夫

明細書

1. 考案の名称

布製品

2. 実用新案登録請求の範囲

5 (1) 表示記号または文字を表わした転写層を裏面の一部に設けた布製品。

(2) 前記転写層が感熱型接着剤層と複写画像層とを重ねて設けたものからなる実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の布製品。

10 (3) 前記感熱型接着剤層が白色顔料を含むものである実用新案登録請求の範囲第(2)項記載の布製品。

(4) 前記転写層が洗濯方法の表示記号を表わしたものである実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の布製品。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、衣服やタオル等の布製品に関するものである。

20 (従来の技術)

従来、衣服においては、第11図に示すように、
洗濯方法等の表示記号または文字30を施した布
片31を、衣服32の裏面に縫い付けている。表
示記号または文字30は、材質を示す場合もある。
また、第12図に示すように、衣服32の襟部に
おける裏面にも表示記号または文字30'を表わ
した布片31が縫い付けられる。この表示記号ま
たは文字30'は、商標やサイズ等を表わしたもの
の等からなる。タオルやシーツ等の布製品におい
ても、同様な布片が縫い付けられる。

〔考案が解決しようとする問題点〕
しかし、これらの表示用の布片31、31'は、
縫い付けによって取付けなければならないため、
取付けに手間がかかるという問題点がある。また、
肌着等においては、布片31、31'が肌に摺れ、
肌の弱い人の場合、肌を刺激することがある。特
に、乳幼児用の肌着では、家庭において、布片31、
31'を切り取り、肌の保護を図る等の手間を要
することがある。

この考案の目的は、表示記号または文字を施す

につき製造が簡単であり、またこれら表示記号または文字を施した部分が突出せず、肌を刺激することのない布製品を提供することである。

〔問題点を解決するための手段〕

この考案の布製品は、表示記号または文字を表わした転写層を裏面の一部に設けたものである。

〔作用〕

この考案の構成によれば、表示記号または文字を施した部分が転写層からなるため、加熱転写シート等を用い、簡単に転写して施すことができる。

また、布製品に直接に転写層を形成するので、従来のように布片を用いる場合と異なり、布製品から突出せず、肌着等の場合であっても肌を刺激することがない。

〔実施例〕

この考案の第1の実施例を第1図ないし第5図に基づいて説明する。この実施例の布製品1は、いわゆるTシャツ等の衣服に適用したものであり、表示記号または文字2、2'を各々表わした転写層3、3'を、布製品1の裏面のすそ部と襟部と

に設けてある。4, 4' は背景色部である。すそ部の転写層3の表示記号または文字2は、洗濯表示記号、製造元、材質、サイズ、型番号等を表したものである。襟部の転写層3'の表示記号または文字2'は、サイズ、商標、生産地等を表したものである。

転写層3は、材質や製造方法を問わないと、この実施例では次の製造方法を採用している。転写層3'も同様である。この方法は、第4図および第5図に示す加熱転写シート5を用い、第2図および第3図に示すように転写する方法である。加熱転写シート5は、剥離シート6に表示記号または文字2と背景色部4の複写画像層7を施し、白色顔料を含む感熱型接着剤層8を複写画像層7に整合状態に重ねて設けたものである。剥離シート6には複写用樹脂層9を形成し、複写画像層7は複写用樹脂層9の上に施す。なお、複写用樹脂層9は必ずしも設けなくてもよい。

剥離シート6は、通常の上質紙に、メルティングポイントが180℃以上の樹脂を全面に塗布含

1. 漫したものを用いている。この樹脂としては、例
2. えばアミノアルキッド樹脂、フッ素樹脂、エポキ
3. シ樹脂、その他が用いられる。複写用樹脂層 9 は、
4. 醋酸ビニル系の樹脂を主成分としたペーストを用
5. い、はじめ複写画像層 7 の形成位置に合わせて塗
6. 布する。

7. 複写画像層 7 は、カラー複写機を用いて剝離シ
8. ート 6 の複写用樹脂層 9 上に複写する。複写画像
9. 層 7 は、トナー粒子を定着させた層等からなる。
10. カラー複写機は、特に形式を問わないが、電子写
11. 真式のものであって、色分解フィルタを用いた 3
12. 原色カラートナーによる減法混色で複写するもの
13. を用いている。複写する元図には裏向きにしたもの
14. を用いる。

15. 感熱型接着剤層 8 は、例えばナイロン系の樹脂
16. を用い、これに白色顔料となるチタンを混合して
17. 白色となるように調合する。

18. この加熱転写シート 5 を第 3 図のように布製品
19. 1 に重ねて加熱プレスすることにより、転写が行
20. なわれる。剝離シート 6 は複写用樹脂層 9 から剝

- 離する。
- この構成の布製品によると、表示記号または文字2, 2'を施した部分が転写層3, 3'からなるため、前述のように加熱転写シート5を用い、5簡単に転写して形成することができる。この加熱転写は、布製品1のアイロン掛け工程中に行なえるので、工程数が削減され、より一層製造が簡単である。また、布製品1に直接に転写層3, 3'を形成するので、従来のように布片を用いる場合10と異なり、布製品1から突出せず、肌着の場合であっても肌を刺激することがない。
- この実施例の加熱転写シート5を用いた場合は、15次の利点が得られる。すなわち、複写画像層7は白色顔料を含む感熱型接着剤層8を介して布製品1上に施されるので、布製品1が淡色であっても濃色であっても、複写画像層7の絵柄がくっきりと表現される。この効果は、試作品により確認された。
- さらに、複写画像層7を施すので、印刷による20場合と異なり、多色の複雑な表示記号または文字

2. 2' の場合でも、カラー複写機を用いて簡単に施せる。すなわち、多色刷り印刷のように複雑な工程を経ることなく、1回の複写で形成でき、また色ずれの発生もなく、品質の高い加熱転写シートを連続的に生産することができる。

第6図ないし第8図は第2の実施例を示す。この例は、転写層103が表示記号または文字2の部分と、その周囲を囲んだ囲み線104とからなるものである。前記実施例の背景色部分4は形成していない。一部の表示記号20は、洗濯方法の記号であり、赤色のX印部分110と、黒色のフルスコ表示部分111とからなる。第7図は第6図のVII-VII線拡大断面を、第8図は第6図の転写層103の形成に用いる加熱転写シート105を示す。その他は第1の実施例と同様である。

第9図および第10図は第3の実施例を示す。この例は、転写層203を、透明の感熱型接着剤層208と複写画像層207で形成したものである。205は転写シートである。複写画像層207は、第1図の例の表示記号または文字2と、背景

- ・ 色部4とからなるもの、あるいは表示記号または文字2のみからなるものである。その他は第1の実施例と同様である。
- ・ なお、転写層3, 3', 103, 203の形成方法は、前記各実施例で用いた方法に限られず、種々の転写方法が採用できる。例えば複写画像層の代りに印刷による絵柄層を形成した転写シートを用いてもよい。
- ・ また、この考案を適用する布製品としては、衣服やくつ下等の衣料の他、シーツ等の寝具等が挙げられる。

・ [考案の効果]

- ・ この考案の布製品は、表示記号または文字を施した部分が転写層からなるため、加熱転写シート等を用い、簡単に転写して施すことができる。また、布製品に直接に転写層を形成するので、従来のように布片を用いる場合と異なり、布製品から突出せず、肌着等の場合であっても肌を刺激することがないという効果がある。

20 4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の第1の実施例の破断正面図、第2図は第1図のⅡ部分の拡大図、第3図は第2図のⅢ-Ⅲ線断面図、第4図はその転写に用いる転写シートの正面図、第5図は第4図のV-V線断面図、第6図は第2の実施例の部分正面図、第7図は第6図のVII-VII線拡大断面図、第8図はその転写に用いる転写シートの断面図、第9図は第3の実施例の断面図、第10図はその転写に用いる転写シートの断面図、第11図および第12図はそれぞれ従来例の部分斜視図である。

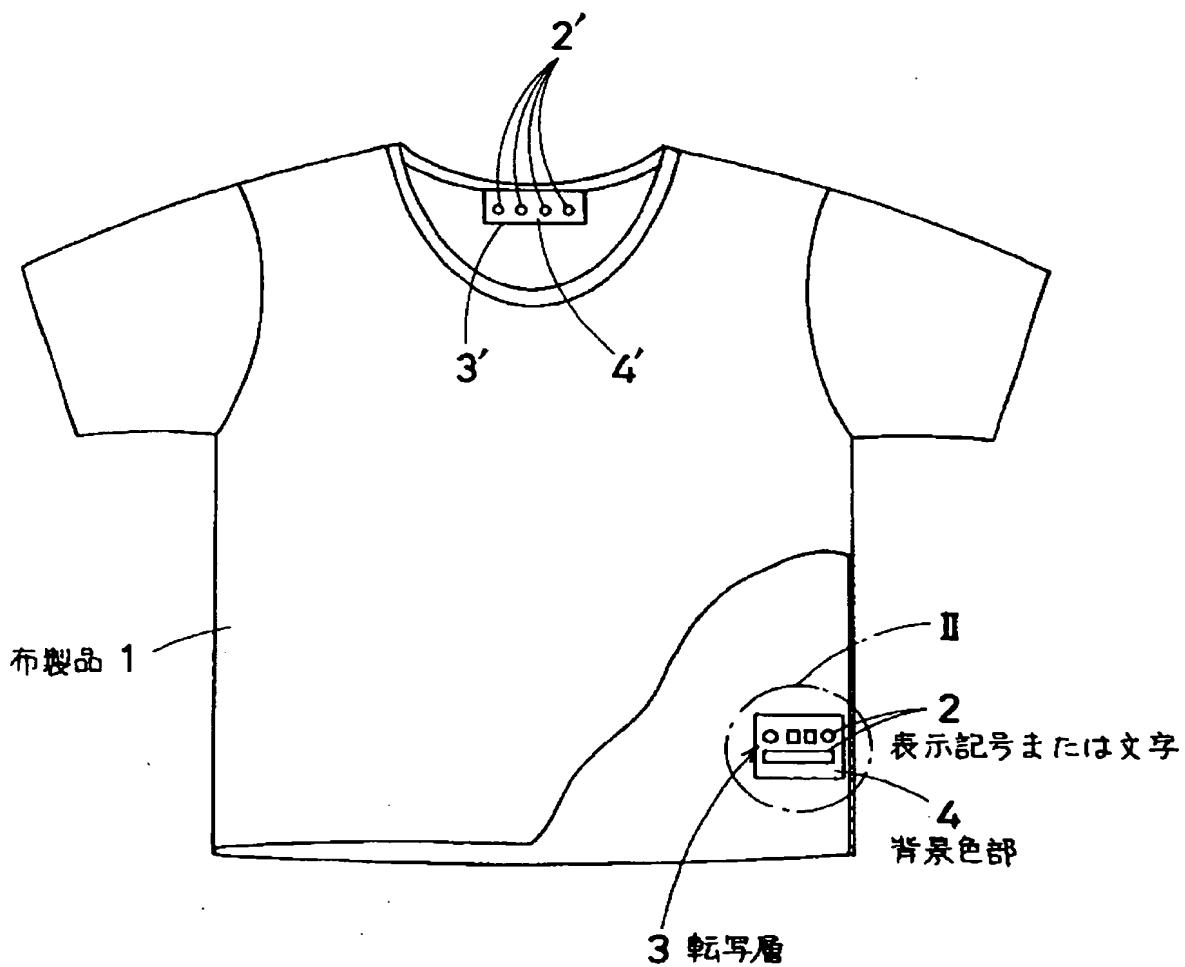
1…布製品、2, 2'…表示記号または文字、
3, 3', 103, 203…転写層、4, 4'…
背景色部

実用新案登録出願人 辻 本 穂 二

代 理 人 弁理士 宮井 勤夫

夫空井
井理士
印

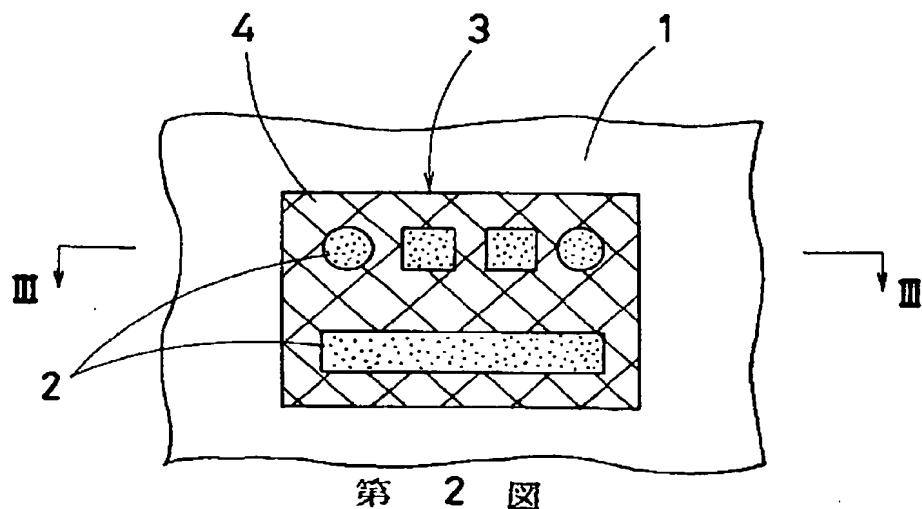
1023



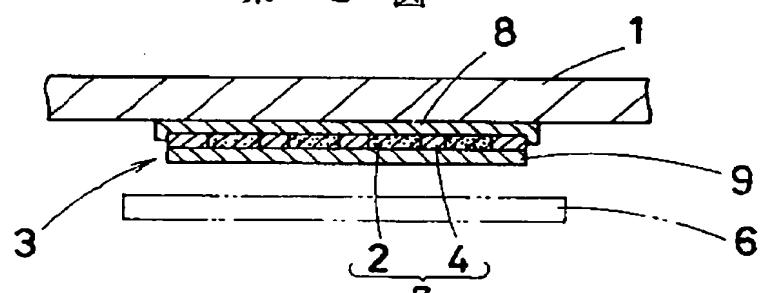
第 1 図

1024

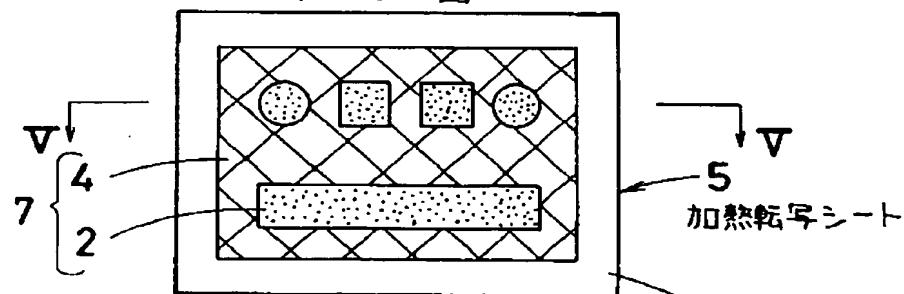
実用 63- 30398
弁理士 宮井 咲夫



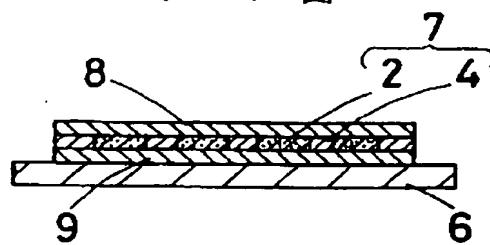
第 2 図



第 3 図



第 4 図

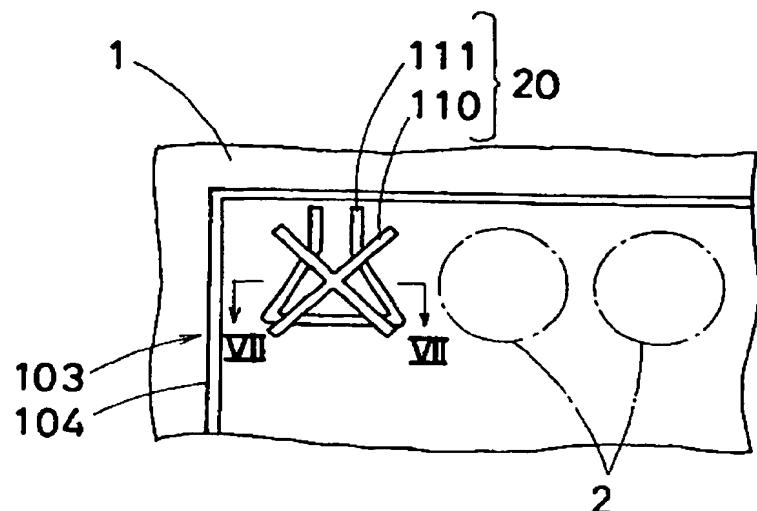


第 5 図

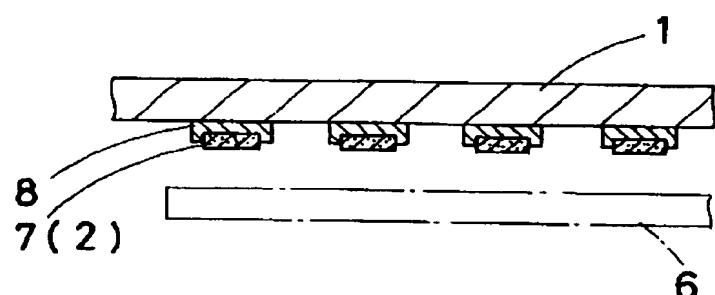
1025

実開 63-30398

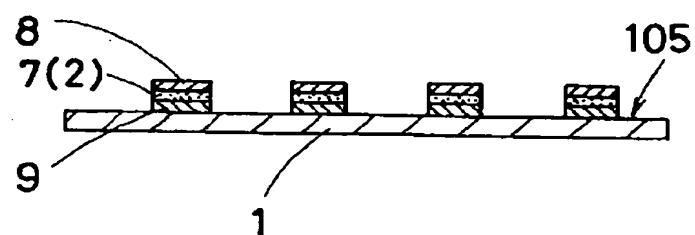
弁理士 宮井 勝夫



第 6 図



第 7 図

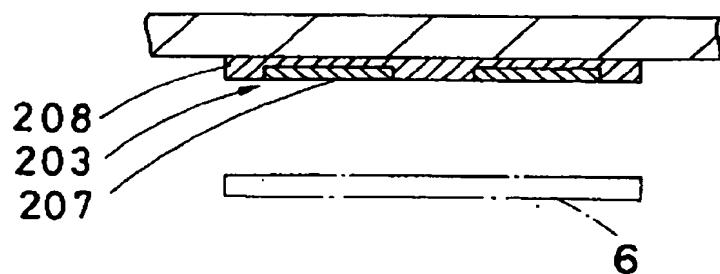


第 8 図

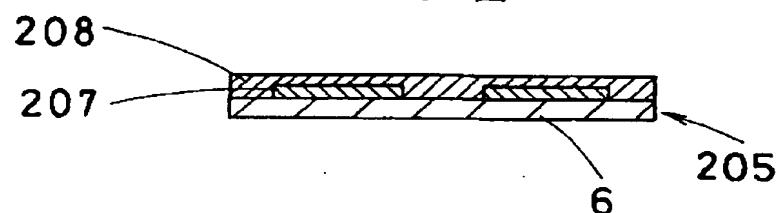
1026

実開 63-30398

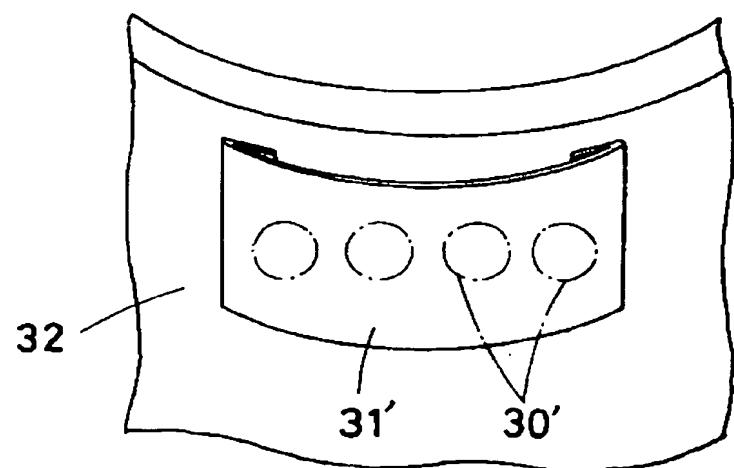
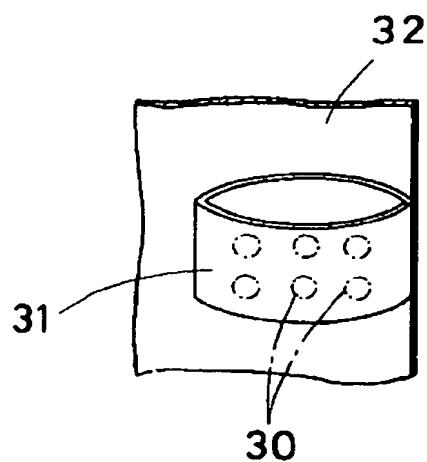
弁理士 宮井 喜夫



第 9 図



第 10 図



第 12 図 1027

第 11 図

弁理士 宮井 喜夫
実開 03-30398 TM61-02 1/4 T

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record.**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER: _____**

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.